



胎児の人権宣言

前文
人間はひとりひとりが、受精の瞬間から自然死にいたるまで、生来の尊厳と固有の価値を有するので、今日我々は公けに以下の六ヶ条の宣言に同意する。

第一条
我々は、胎児ひとりひとりが、受精以後の発育のすべての段階において、人間であるという科学的事実を確認する。

第二条
我々は、本宣言に定められている権利を、人種、胎児年齢、性別、国籍、宗教、社会一経済的出自（生まれ）、障害の有無、その他のいかなる理由によっても差別することなく、尊重する。

第三条
我々は、胎児が、1948年の国連の人権宣言に述べられている胎児以外のすべての人間の基本的権利と同様の権利を有することを確認する。我々は、この権利が立法によって認められることを要求する。

第四条
我々は、胎児ひとりひとりが良好な胎内環境で発育する権利を有することを認める。この環境には出産までの母親の適切な保護と両親への支援を求める権利が含まれなければならない。

第五条
胎児が、受精の時から、科学的、医学的、または医学的実験や利用に供されない権利を有することを確認する。ただし、この実験や利用が胎児に直接役立つ場合を除く。

第六条
我々は、胎児の発育とそれに関する諸問題についての科学的事実の教育の推進に努める。また我々は、女性が子供を産み育てるのを難かしくしている社会的、経済的ならびに法律的諸条件の改善に努める。

結び
以上にかんがみ、我々はすべての国際団体、政府、組織、ならびにすべての善意の人々が、ここに含まれる各箇条を公認し、実行するように強く奨める。

日本の生命尊重の日は7月13日

捨てられた男の子

写真というものは、時には忘れた方がいいイメージをも、鮮明に印象付ける。しかも一度脳裏に焼き付けられた画像は永遠に定着し、何度でも思い出すことができる。一九九七年九月号の雑誌『ライフ』の写真がまさにそれだった。その写真では色とりどりの毛布に居心地良く包まれた赤ちゃんが、薄紫色の帽子をかぶり、真っ黒い眼でまっすぐカメラを見つめていた。一見新しい生命の美しい写真だが、その背景に見えるのはお母さんの暖かい腕ではない。この見捨てられた子どもは、中国の道路脇で、葉っぱや泥や何かの残骸の中に寝かされているのである。中国の役人達は、アメリカ人の写真家とその仕事仲間を、「気にしない方がいいですよ」と言った。

そのアメリカ人達がアドバイスを無視し、その赤ちゃんを病院に連れて行くと、赤ちゃんは心臓奇形で肺炎も起していると診断された。病院の職員は外国人達に、その男の子を見つけた所に戻してくるべきだと叱責した。彼等職員は、アメリカ人達の

気遣いを見て、「驚き、不思議に思った」らしかった。

赤ちゃんが捨てられることは、中国ではよくあることである。その中には生まれつき身体に欠陥を持っている赤ちゃんもいるが、多くは健康な女の赤ちゃんである。その理由は中国では年老いた両親の面倒を見るのは男の子ともいうことになっており、その上政府によって厳しく一人っ子政策が施行されているからである。この写真と写真に付随している記事は、合法化した中絶の持つ「情け深さ」を唱える雄弁な根拠を提供するだろう。妊娠の段階で決着を付けてしまう(子どもを殺す)方が、餓死や野犬などの襲撃よりもいいのではないかと、では聞くが、それは誰のためにいいと言いつのか？それは私達の為に、ではないのか？そうすれば私達が赤ちゃんの澄んだ眼に見つめられることはないし、私達が赤ちゃんのいい匂いや絹のような髪の毛を思い浮かべることもないからでは？

締められたドアの向こうで密かに行われている行為は、私達

の忙しい生活を妨害することもないし、私達の心を痛めることもない。何故なら私達は、この眼で見えるものにしか影響されないからだ。私が聞いたことのある話では、ある有名な女優は、ある子牛と眼が合った時から、決して肉を食べなくなったという。私はこの赤ちゃんの写真を見たり記事を読んだりしなければよかった。あの無邪気な顔が私の頭から離れない。人間の一つのグループが別のグループへ持つ冷酷さには、ぞつとするものがある。神様だって涙を流さず

にはいられないだろう。

この赤ちゃんは愛されていたのだと思う。誰かが、沢山洋服を着せてあげて、注意深く毛布で包み暖かい毛糸の帽子をかぶせ、道端には哺乳瓶まで置いたのだ。恐らく、病気の小さな赤ちゃんを育ててあげられなかった母親が、奇蹟を信じたのだろう。優しい人が赤ちゃんを見つけていのちを助けてくれるかも知れない。けれど、中国人達は何も気にしない様子で捨てられた赤ちゃんのそばを通りすぎる。アメリカ人達が中絶クリニクを無関心に通りすぎるのと同じように。中国政府の「ひとりっ子政策」と昔からの慣習が、何千人もの赤ちゃんを殺すことを認めている。もし一人きりの子どもが男の子でなかったり、障害や病気が

を持つて生まれた男の子だったら、両親が歳を取った時に誰が面倒を見てくれるというのだろう？というのだ。そこで私達が道理上聞きたいのは、もしすべての女の子が道に捨てられたり、生まれる時に溺死させられたら、誰が次の世代を生むというのか？ある統計では、中国では今すでに男の子の数は女の子の数の4倍になっていると推定している。でも、これら生き残った男の子達が結婚できなくても、とりあえず年老いた両親は面倒を見てもらえて安心だからいい、ということらしい！

この、赤ちゃんを捨てるという行為はひどく野蛮に見えるかもしれないが、アメリカ人が中絶する理由と中国人が幼児殺しする理由には共通点がある。中国人のカルプルが幼児殺しするのは自分を保護する為である。自分が年老いた時に面倒を見てくれる人が誰もいなくなることへの恐れが、この自分勝手な行動の動機なのだ。

アメリカ人も似たような考え方で中絶を受け入れている。その子どもが生まれることによつて親の人生が邪魔され、未来が変わってしまった、恥じさらしになり、先に生まれている兄弟の物質的豊かさが奪われ、経済的

ある国では赤ちゃんを道端に捨て、ある国では赤ちゃんを密室でそのいのちを奪い去る。すべてそれは大人の生活を守るため！理由はどうでもつけられるけれど、奪われたいのちは帰ってこない。

又他の面での問題が起きて、親に落胆と苦悩を与えるというのである。ここでも親の自己保護によって、赤ちゃんは生まれないうほがよい、と判断されてしまつのだ。

しかし私達アメリカ人の社会は子どもを道路の脇やごみ箱やドブに捨てたりするのは非人間的な(そして目に付きすぎる)行為だと認識する。私達はその行為に反対する。しかし子どもをクリニクスの滅菌された密室の中で破棄し、それからごみ箱に捨てることは、見えない所で行

われているし、許容されるのである。許容されるだけでなく、時にはそれは勇氣ある行動で同情的である、と賞賛されてさえているのだ。

子どもを子宮から取り去る方が、生後数カ月の赤ちゃんを人通りの多い道に捨てるよりも倫理的で正しくて人間らしい行為なのだろうか?それともそれはただ単にさっぱりしているからなのか?

私達の国だけでなく世界中が、自己保護という泥沼の中で窒息しそつになつてきている。自分のことだけを考へて勝手に決めた結論は、賢明とは程遠く、その決定

を下した人自身にも、その決定を下された不幸な相手にも幸せと喜びをもたらささいのだ。

写真家ジェフ・アベリン氏が撮つた「迷子の男の子」と題された脳裏から離れない写真は、何千語の言葉よりも重みがある。鋭敏な単純さと、内臓を握られるような感動によつて、残酷さと冷酷さをうまく飾りたて良いものに見せてしまう人間の能力を、この写真は伝えているのである。私達に必要なのは、情のある心だけなのだ。

マーサ・カーベント

純潔が流行の兆し

「結婚まではヴァージンを」と誓う十代の有名人たち

十代の芸能人やスポーツ選手の間で「結婚までヴァージンでいよう」主義が、驚くべき勢いで広がっている。彼らの両親が「88年世代」と呼ばれ、彼らぐらゐの年齢の時に「戦争よりも恋しよう」と主張していたのを考へると、この変化は驚異的とも言える。彼らの子ども達は、運命の人を見つかるまで待つのが美德といとも当然のように語る。

雑誌「Us Magazine」に、結婚ま

で純潔を表明する若い芸能人リストが掲載された。その中にはロサンゼルス・レイカーズの中心的存在である人気選手、C.C.グリン、ロシアのテニス選手で「Joan of Arc」で人気のリーリー・ソビエスキー(17歳)、人気TV番組「General Hospital」でラッキー役を演じているジョナサン・ジャクソン(同じく17歳)等の名

前も掲載されている。

伝説のスター、フリオ・イグレシアスの息子の歌手エンリケも、リストに名を連ねる。彼は幼い頃に両親の離婚を経験し、自分の子どもと同じ体験をさせたくないとの思いが強い。全世界でのCD売り上げからみても、エンリケの参加は最も反響が大きいと思われる。プロモーションビデオ等でかなりセクシャルな

表現をしている彼が「僕は、ヴァージンを結婚まで貫くつもりだ。言つとくけど、本当の話で、冗談じゃないよ」と言うのだから。

まだ小規模ながらも広がつつつある純潔団体、発端は1988年テネシー州ナッシュビルのバプテスト教会で、レヴレンド・リチャード・ロスが「純潔の誓い」を掲げ始まつた。数週間もせず、いくつものバプテスト系、ペンテコスト(聖霊降臨)系教会や学校、地域団体が支持し、何千人もの少年達が同意した。もちろんカトリック団体も賛同し、数カ月後には「ベストフレンズ」「チューズ(選択)」「ガールズS.A.」「ネクスト・ゼネレーション(次世代)」等の団体が発足した。まづ先に支持したのは少女達だった。

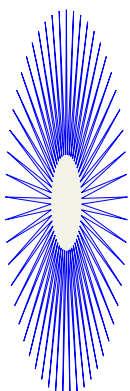
もつとも、若者達は新たに何かを見いだした訳ではない。カトリックの価値観として常にあつた「ヴァージニティー」を復活させようと動き出したにすぎない。イエス・キリストの時代は、社会がユダヤ教の理念を基盤とする、産めよ増やせよの価値観で、処女の女性の死を大きな損失とみなされた。ローマ時代は女神ウェスタを重んじ、女神に仕える間のみ一時的禁欲を保つことを奨励された。ヘレニズム時代後期においては、純潔

は宗教や学問に励む女性が選択する価値観のひとつとみなされていた。

だが、生涯独身を貫くことが要求されるカトリックの新しい価値観は、弟子達をも驚かせ、とても困難であるといエス本人に語っている。神父も妻帯していたキリスト教誕生当初は、女性が純潔を神に誓うことがとても高く評価され、社会的に高い地位にある処女も現れた。とりわけ文学や哲学にたけた女性著名人が注目をあび、聖パウロ時代の有名な処女・テクラは、多彩な文学活動が認められ、後世に名を残している。

カトリック教会の理念であるカテキズムでは、貞潔を「性に関する心の調和がとれている人で、肉体と精神における自我が一致している」と定義される。結婚前は性行為と無縁に暮らすことを、結婚後は婚姻の誓いに基づき、夫婦間で貞潔を貫くことを指す。昨今の若者による貞潔の誓いは神意を伝える役割を果たし、早すぎる行為の結果による、望まぬ若年妊娠を防ぐことにもつながる。

Chastity becoming fashion CC102



何故選択肢はなかったのか：個人的な経験

僕が中絶の話をして妻を驚かせたのは、妻が妊娠6ヶ月の頃、多分1月のいつかだったと思います。

僕達は結婚したばかりで最初の子が出来ました。ハネムーンベビーです。結婚していたことを除けば、僕は、女性が中絶したがる様々な理由に当てはまっていたのです。

「考えてみたら」と僕は言いました。「もし僕達がクリスチャンでなかったら、中絶しても何も不思議ではなかったよね」

僕達は二人ともクリスチャンの家庭に生まれ育ち、中絶は道徳的に間違っていると信じていたので、トリスタンが僕を信じられないというような顔で見ても、僕は当然だと思いました。「何を言っているの？」と彼女は聞きませんでした。

「もし僕達が中絶を悪い事だと思わなかったら、中絶することを考えたかもしれないと言っているだけだよ。」と妻に言いました。彼女は僕の頭が変になったのか、というように見えました。実際そうだったのかもしれない。

僕は真剣に中絶を考えるつもりはありませんでしたが、その問題について議論する時、反対意見の相手の心の中を見ても必要だと感じるのです。だ

からこの話を持ち出したのです。僕は結婚したばかりで最初の子が出来ました。ハネムーンベビーです。結婚していたことを除けば、僕は、女性が中絶したがる様々な理由に当てはまっていたのです。

中絶賛成者達が掲げる典型的な理由であるレイプ、近親相姦、母体の危険等は、全部合わせても全体の中絶理由の7%以下しか占めません。その他の理由としてあるのは、未婚だから、若すぎる年齢、学校がある、責任は負いたくない、十分な資金がない、等です。

トリスタンと僕は、妊娠が確実にわかるまでの数週間、もしかしたら妊娠したのではないかと考えてはいました。妊娠した可能性はありました。僕は自然な家族計画を実行していましたが、新婚旅行に行った時、計画によれば妊娠する時期であったからです。でも一か八か賭けてみたのです。そして二人は心配になりました。まだ子どもを持つ時期ではないかと思ったのです。トリスタンは大学の最終学年において、生化学の学士号を取る

うとしていました。赤ちゃんが出来たら、それは難しくなります。

僕は地元の新聞社で遅くまで働き、それでも収入は少しかつた。なんとか食べていけました。トリスタンもパートで働いていました。もし赤ちゃんが加わったら食べていけなくなる、と二人とも思ったのです。

それに、結婚する前、赤ちゃんはしばらく作らないことにしようとしていたのです。子どもはいない新生活を楽しむ時間がまず欲しかったのです。映画、レストランやクラブに行きたかったし、楽しいことをしたかったのです！

そして最後に、一般的に言うて僕は若すぎました。僕は20代中頃でしたが、トリスタンはまだ22歳でした。この事はそんなに問題にはしませんでした。若すぎるのではないかと言われているのを何回か耳にしたことはありません。

トリスタンがトイレに入って家庭用妊娠検査をしている間、僕はお腹が気持ち悪くなってきました。僕は静かに祈りました。

検査の陰性を願うのではなく、どっちが出るにしろ、僕を助けて下さいと祈ったのです。

トリスタンは、妊娠していることを示す陽性のマークを見た時、笑い出しました。僕に見せてくれた時、僕も笑わずにはいられません。それは本当に素晴らしい気持ちでした。あんなにあつた心配が、突然遠くに消え去った気がしました。

中絶は決して僕達の選択肢ではありませんでした。僕は中絶が道徳的にとても悪いものだと思っっています。その上、もし中絶していたら、それによって僕達の結婚は壊れたでしょう。何故なら、新婚旅行で子どもができるなんて、僕にはとてもロマンティックなことに思えるからです。その子どもを中絶しようとするのは、そのロマンスも消し去ってしまうことになるのですから。

神の働きは神秘的です。トリスタンが妊娠しているとハッキリわかったその日、僕は残業の少ない、もっと良い給料で、もっと良い保険制度のある仕事を始められました。給料は満足いけ

る程はもらえませんでした。トリスタンがパートを辞めても十分やっていける額でした。

トリスタンの大学での最後の学期は大変でした。あるクラスでは、妊娠している彼女は参加してはいけない実験があると注意されました。けれど先生達は協力的でした。そして赤ちゃんも。トリスタンが最後の期末試験を受けたのは、病院に入院したのと同じ日だったので、彼女が優秀で卒業しました。

トーマス・アレクサンダーは、一九九八年五月十二日に生まれました。この子は僕達が望む以上に可愛い子です。この子が僕達や家族に与えてくれる喜びは、口では説明出来ません。この子は恵みであり、汚れがなく純粹です。

だから私達には、中絶を選ぶことなんてなかったのです。赤ちゃんは僕達に恵まれたもので、負担だけではないのです。僕はまだ早いかもしれないと思っただけです。避妊しないこと、神様に僕達の為の選択をゆだねたのです。そして中絶を考えないことで、神がしてくれた選択を受け入れることを、僕は神様に伝えたのです。

クリス・モスマイヤー

バース・コントロールと中絶：その関係は？

安楽死への意見

「避妊は、男女の関係を簡単なものにし、態度や道徳的価値観さえも中絶に向かわせるような働きをしてしまう。避妊を容認するよつなメンタリティには、性交渉と赤ちゃんができるという自然の関連性を気づかせない場合がある。つまり、赤ちゃんのことを、性交渉による「事故」であり、性関係にとつて邪魔者あるいはお荷物であるところであるのである。」

ジャネット・スミス教授

最近のニュースを見ていけば、

いる。

新しい緊急避妊薬の是非が今問われていることをご存じだろうか。このようなバース・コントロールは、増加する予期せぬ妊娠に対する社会の回答となりつつある。多くの人は、よいバース・コントロールの方法が市場に出回れば、妊娠中絶は減少すると考えている。だが、ピルやノルプラント、EUD、デポ・プロヴェラなどが本当に中絶減少を促せるのだろうか？

ところが、避妊道具が新しく受精された子どもを子宮から遠ざけることになるか？ 一体どうなるのだろうか？ 栄養も与えられず、成長する場所もなければ、子どもは生き延びることができなくなり、一週間のうちには死んでしまう。

これ私たちが早期の化学中絶と呼ぶ。そしておそらく最も恐ろしいことは、子どもの両親は自分たちが妊娠していた事実さえもまったく知らずに終わってしまうということだ。化学的バース・コントロールが行われるようになってからも、妊娠中絶は決して減ってはいない。むしろどんどん増えている。だが、バース・コントロールにまつわる問題はこれだけではないのである。

私たちが忘れてはならないのは、私たちが企てるのが許される唯一の計画は、神の意志を貫き通して生きていくということである。神の意志であって、私たちのものではない。自分や自分の家族を完全に神にお任せするのであって、物事の順番など

安楽死は、慈悲深そうに見せかけて人を殺す世界規模の問題です。薬物投入などの直接的方法にしろ、生命維持に必要な処置を怠るにしろどちらの形にしてもそうです。安楽死の背景には必ず殺人の意図がある。最近の医師達はヒポクラテスの宣誓をしないのか？ それなら葬儀屋や毒を盛るプロでも雇えばいいものを。そうしない一点だけで、医師は病気を癒す人としてまかり通っている。安楽死論争は、病気の、高齢者、障害者をひどく不安にさせている。

(NSW/aust/96)

バース・コントロールの種類：

ピル

コンドーム

避妊リング (EUD)

Spermicides

緊急避妊薬 (プリーベン等)

ノルプラント

RUI 486

デポ・プロヴェラ

非繁殖ワクチン

(インターネット)

Why Life? youth)

S: NSW, aust/96

そうではないはずである。つまり、これらの化学薬品や道具の効用の一つは、子宮の内側に受精卵を付着させないというものである。「受精卵」とは、つまり受精はすでに行われたということであり、新しい小さないのちはすでに誕生していて、子宮を指して卵管を通過中なのである。そこに存在するということは、赤ん坊はすでに栄養及び存在に必要な成長ホルモンであるプロゲステロンを与えられて

えるのではなく、呪いだと思われようになった。大家族において、尊敬されるどころか軽蔑の目で見られるようになった。今日の生活において、高収入を得ること、高価な車に乗ること、大きな家に住むこと、などにより一層の価値を見いだすようになったのである。若い新婚夫婦たちは、家族を持つまでに時間をかけたがるようになった。周囲を見ていて、子どもが自分の自由を奪うことを知っているからである。だから望まない時期に子どもが出来てしまった場合、それを大きな恵みだととらえられない人々は、中絶を選ぶようになった。私たちが企てるのは、私たちが企てるのが許される唯一の計画は、神の意志を貫き通して生きていくということである。神の意志であって、私たちのものではない。自分や自分の家族を完全に神にお任せするのであって、物事の順番など

資 料 紹 介

新しい ビデオ 資料

『ポルノの害毒』

ユース・セミナー 7

(47分)

費用：3800円+送料

ポルノと聞くと、私たちはちょっと町の本屋さんを覗くと誰もが手にする事のできるどころの棚に、それも開く事の出来ないカバーもしないで、立ち読み・立ち見の自由に出来る状態で並べられているポルノ本や雑誌のことを何とかならないものかと、特に思春期の子ども達を持つ私たち親たちが、日本の現状を憂いながら考え込んでしまう人がきっと多いでしょう。海外ではあまりこのような状態でポルノ本や雑誌を並べている本屋さんはないと聞きます。

このビデオに登場してくる連続殺人犯の死刑囚テッド・パンディーは中流の何不自由ない幸せな家庭で育っていました。ある日、路地で遊んでいた時、誰かが捨てた一冊のポルノ雑誌を目にしました。それが死へ向かう道だったのです。処刑される前に、彼は、児童発達心理学者のドブソン博士に自分の歩んで来た道を単独インタビューで伝える事を願いました。

アルコール、薬物、その他の中毒と同じでポルノ中毒も予測できるパターンを辿りますと博士は述べています。それは、ソフトコアポルノからハードコアポルノへ、そして境界線をこえると倒錯(本能や感情の異常により、社会・道徳に背く行動をすること)そして死に至るのです。私たちはすぐ飽きが来るので、この状態を余程のプレー

キをかかさなければ、次の段階へ誘い込まれやすいのです。そして、ポルノは、女の子より視覚から影響を受けることの多い男の子には強烈な印象を与えられているとされています。

是非このビデオを購入して、御家庭で、学校で、教会で、皆で御覧になって下さい。彼等の対話の中から、私たちが学び取ることが沢山あると思います。そして、ポルノの影響に抵抗するために私たちが出来ることを考え、実行に移しましょう。

子ども達をポルノの害毒から守りましょう！

【プロ・ライフニュース】

[101] 1部ご注文 無料 + 郵送料

【カラー・パンフレット】

- [201] 生か死 + 郵送料
- [202] 第二の処女生 + 郵送料
- [203] デート + 郵送料
- [204] どうするの? + 郵送料
- [205] "NO"という技術 + 郵送料
- [206] ティーンの出産コントロール + 郵送料
- [207] バージンの瀬戸際 + 郵送料
- [208] していましたか + 郵送料
- [209] 親権限と「10代の性」 + 郵送料
- [210] 貞節のすすめ + 郵送料
- [211] 中絶行為は女性を解放しない + 郵送料

【ポケット・サイズ】

- [301] 若い生命「1セット=カード+人形」30円 + 郵送料
- [303] 国際プロ・ライフ・シンボル・ピン200円 + 郵送料
- [304] 国際プロ・ライフ・ネックレス500円 + 郵送料
- [305] 胎児の人権宣言カード30枚=100円 + 郵送料
- [306] ミニソフィア Ace エース(税別)7980円 + 郵送料

【ビデオ+本・日本語】

- [401] 沈黙の叫び...(VHS/Beta)7000 + 郵送料
- [403] ビリングス・メソッド(VHS/Beta)....7000 + 郵送料
- [404] いのちーおくりもの(VHS)....13000 + 郵送料
- [407] 命美しいもの = one&only(VHS)....20000 + 郵送料
- [409] 聞こえる? 天使の鼓動(VHS).....6000 + 郵送料
- [410] ビル先進国・英国からの警告...(VHS)...15000 + 郵送料
- [411] (ユース・セミナー) **エイズ時代の性倫理**...(VHS)...3800 + 郵送料
- [500] (本) 生命問題に関する...(カトリックの教え)...2987 + 郵送料
- [501] (本) 自然な家族計画...(ビリングス・メソッド)...1000 + 郵送料
- [503] (本) プロ・ライフの旅300 + 郵送料
- [504] (本) 小さな鼓動のメッセージ1200 + 郵送料
- [505] (本) いのちをみつめて500 + 郵送料
- [506] (本) 命あるすべてのものに(マザー・テレサ).....660 + 郵送料
- [507] (本) 私の生命を奪わないで2300 + 郵送料
- [508] (本) いのちの福音1500 + 郵送料
- [509] (本) 小さき生命のために1300 + 郵送料
- [511] (本) **赤ちゃん：最初の十ヶ月**...12ページ...100 + 郵送料
- [512] 本 日本プロ・ライフ・ムーブメントについて300 + 郵送料
- [513] 本 カトリック教会と日本プロ・ライフ・ムーブメント500 + 郵送料
- [514] 本 神様は中絶をどのように言っておられるでしょう300 + 郵送料
- [515] (本) **経口避妊薬：ピル**100 + 郵送料
- [516] (本) いのちの福音と教育1470 + 郵送料
- [517] (本) **フマネ・ヴィテ**300 + 郵送料

[511] 赤ちゃん：最初の十ヶ月の旅

[515] 経口避妊薬：ピル

注文： 1 - - - - - 5 1部 = ¥100
 6 - - - - - 20 1部 = ¥75
フルカラー 21 - - - 999 1部 = ¥50
 1000 - - 以上 1部 = ¥35

性教育の材料として、学校、教会、家族、産婦人科

(本) フマネ・ヴィテ

1 - - 30 1部 = 250円
 31 - - 100 1部 = 200円
 101 - - 以上 1部 = 150円

パンフレット申し込み

1 - - 5 1部 = 35円
 6 - - 100 1部 = 25円
 101 - - 500 1部 = 20円
 501 - - 以上 1部 = 15円

は 組
自 み
由 合
で わ
す せ

十代の性

(26)

問い：もし両親が本当に赤ちゃんを欲しくなかったらどうすればいいでしょうか？

答え：子どもが要らない両親が取る行動として、中絶よりもっと良い、もっと愛のこもったものがあります。赤ちゃんを安全で愛情の溢れている家庭へ養子に出すのです。この世の中には、子どもに恵まれず、子どもを引き取りたいと思っている

カップルが何百人もいるのです。でも残念なことに現在では、養子に出される赤ちゃんは少なく、待たなければならぬ時間がとても長い（10年だったりもする）のです。赤ちゃんの面倒が見られない、子どもが要らない親も時には、「自分の赤ちゃんを養子になんて出せない。出した後も赤ちゃんのことをずっと考えてしまっても」と思うかもしれません。しかしそれは自分勝手な態度です。まず誰の幸せを考へるべきでしょうか、自分自身？それとも赤ちゃん？

Q&A

平和を破壊するいちばん恐ろしいものは墮胎です。なぜなら、子どもを殺すのはその子の母親自身だからです。若い女性達は両親を恐れ、世間の人々を恐れるあまりに、墮胎することがよくあります。でも彼女たちを助けなければなりません。マザー・テレサ

「沈黙の叫び」を見て

心から消さない

私は今日の中絶のビデオにとっても衝撃を受けました。ビデオを見る以前に中学生の時に妊娠や中絶の授業を受けていたので、中絶の知識は多少あったけれど、今日ビデオの中で、胎児が危険を察してか、嫌そうに激しく母親のお腹を蹴ったりする様子や、鼓動が急に高まったりする様子を観て、「胎児はきちんとした人間なんだ、ちゃんと分かっているんだ」ということを知ってすごくショックでした。私は前から中絶は絶対しないと

あなたの遺産になるものは何？

人間の最大の願いのひとつは、自分が死んでも自分のことを覚えてもらうこと、つまり世間や自分が関わりを持った人たちに自分が影響を与えたことで自分のことを記憶されることです。不滅を得るために、人は多くの並はずれたことをしてきました。ハワード・ヒューズやパンダービルト家の人々のように巨万の富を蓄え、それによって死後も長く市民の心に名前を留めた人もいます。また、自分が正しいと信じるものを求めて政治家となり、名前が忘れ去られた後も何世代にも渡って続く影書を与えた人もいます。これらの方法のどれを取っても、少しは有名に

を観て、改めてその気持ちが強くなったように思います。

私は今日のビデオを観て、性行為は軽々しくするようなことではない、いのちを粗末にしてはいけなないと思えました。この体験はとても貴重な体験だと思えます。きつと私の心から消えない、消してはいけなない事だと思いました。

M・Hさん「高三生」

なり人の記憶に残るかもしれないが、歴史的に影響を及ぼす別の方法があります。そしてこの方法には神のご加護があるのです。

子どもたちは私達の遺産です。子どもは、私達がこの世を去った後、この世に残す遺産です。もしも私達が世間の考えに従って子どもたちの過ちを指摘しなければ、わがままで神に尊敬を欠いた身勝手な遺産を私達は残すことになりません。一方、神の教えに従い、良い行ないをし、いのちを尊ぶように、子どもたちを育てれば、何世代も持ちこたえる遺産、すべての人間のいのちを大切にする遺産を残すことになるのです。

これが親として私達が果たすべき仕事なのです。それでは親が子どもたちを正しく育てるにはどのようにすれば良いのでしょうか。各段階ごとに説明してくれるマニュアルはあるのでしょうか。マニュアルはあります。それは聖書です。そして神はこのマニュアルの中で私達に課せていることを告げられておられます。ミカヤの書（六：8）

に、「人よ、よいことは何かを、主が何をあなたに求められるかを、主は告げられた。それは正しいことを行い、善意を愛し、あなたの神とともに歩むこと、これではないか」と書かれています。これこそ私達が生きるべき道なのです。そして、私達が子どもたちを見つめている目の前で人生を生きるべきかを学ぶでしょう。

親であるということは大いに責任あることで名誉なことなのです。ピリー・グレアム師は、「子どもたちは例外なく、親と同じような話し方、食べ方、歩き方、反応の仕方、行動のし方をします。子どもたちに進むべき目標を与えなさい。それから子どもたちがはつきりとわかるような手本を示しなさい。そうすれば金、銀では買えないものを彼らに与えることになるのです。」と言われました。

あなたが子どもたちのために示している手本のことをよく考えてごらんください。それは、あなたがこの世に残したい遺産で

リチャード・ジェリナ

会員募集

寄付: 十万円 五万円 三万円

一万円 五千円 一千円

無料: 毎月プロ・ライフ・ニュースレター

あなたの寄付はまだ生まれていない赤ちゃんを守る運動のため使用させて頂いております。私たちと一緒に小さい命を大切に育みましょう。

御送金

銀行: 四国銀行朝倉支店
口座番号: 0573553
日本プロ・ライフ・ムーブメント
郵便局: 「郵便振替」
現在口座番号: 01660-5-39607
日本プロ・ライフ・ムーブメント

事務所たより

皆様お元気でお過ごしでしょうか。お伺い申し上げます。

昨年12月より、ずっと緊急支援をお願いして来ました。御支援・御協力を心から感謝致します。

今月号のページを飾りました胎児の人権宣言は、国際生命尊重会議オスロ大会で取りかかりました。そして、2002年、東京大会で出来上がりました。その開催日を記念して、世界的には4月25日が『生命尊重の日』となっております。日本では、優生保護法(現在の母胎保護法)が施行された7月13日を日本の生命尊重の日といくつかの生命尊重グループが集まった席で決まりました。

3月1日の読売新聞の論点で、日本医科大学教授であり日本産科婦人科学会会長の荒木勤様が、国民の日はそれぞれの願いを込めて制定されたものばかりである。今こそ、我々ひとり一人がいのちの大切さを思い起こすために、「生命の日」を新しい国民の日とすることを提言したいと述べられ、「生命の日」制定を望む」という文を載せて訴えておられます。私たちに考えるヒントを与えてくれる文です。近くの図書館では是非御覧になって下さいませ。

いのちの電話が12月1日を「いのちの日」とし、5月27日に史織ちゃん(プロ・ライフ資料のビデオ『いのち・美しいもの』)プロ・ライフ事務所にて購入可能に登場してくる女の子(天国へ旅立って10年。その日を生命尊重の日として、東京でのちのレクイエム祭が開かれます。そして、たくさんいのちのちのちの方々が出来ています。毎日毎日、日本のどこかでいのちを思う会が催され、やがてそのいのちの日だけでなく、一人ひとりの心の底にいつも、いのちへの畏敬の念がありますようにお願いながら、毎月のニュース作成に心を込め、皆様のもとにお届けしたいと思っております。

日本プロ・ライフ・ムーブメント

将来の妊娠に与える中絶の影響

妊娠早期の中絶では、医師はまず子宮頸部、つまり子宮口を広げることから始める。最初の出産では、この処置を3〜5時間から12〜15時間かけて行う。じつくりと時間をかけて行われるので、子宮口の筋肉が傷ついたり裂けたりすることはまれである。

しかし中絶では、初めての妊娠におけるこの子宮頸部の筋肉を広げる措置を、医師は1〜2分で行う。このため、筋肉が裂けてしまうことも多く、妊婦の子宮口の筋肉は衰え、十分な筋力がなくなってしまうことがある。これが後々悲劇を生むことがある。その女性が後に妊娠した時には、弱くなった子宮口が十分に閉まらず、流産のきっかけとなることが多い。中絶経験のある女性の妊娠3ヶ月以内における流産の発生率は、経験のない女性の2倍である。中絶経験のある女性の妊娠3ヶ月半ばの流産は、中絶経験のない女性ではこの時期の流産はまれであるのに比べ、その10倍にもおよぶ。

妊婦が直立の姿勢のときに、胎児を包みこんでいる器官の中で一番下になるのが子宮口である。つまり、胎児の全体重を子宮口で支えることになる。中絶で弱まった子宮口では、これは大変な負担となる。そして、胎児がある程度大きくなると、子宮口が自然に緩ん

で開いてくる。こうなると、通常の分娩と同じような陣痛が始まり、臨月にはほど遠い時期に産出してしまうことになる。これが原因で発生する早産の率は、最初の妊娠で中絶した女性では、中絶経験のない女性の二、三倍である。

このような問題を抱える女性はどうしたらいいか。通常は、子宮口にかかる圧力を軽減するため、ベッドで安静にするように言われる。しかし、主婦、子どもがいる女性、仕事のある女性などにとっては、これは無理である。早期における子宮口の開口を防ぐためによく使われる手段の1つとして、妊婦が陣痛のような痛みを覚え、早産の可能性のある場合、開かないように縫ってしまつこともある。

明らかに、このような事態を防ぐ一番の方法は、そもそも中絶などしないことである。正常な妊娠と健康な赤ん坊を望むのならば、医療的見地から見た最善のアドバイスは、絶対に中絶をしないことである。

ジョン・C・ウィルキー 医学博士

